



**自然環境モニタリング会議、企画運営会議の開催**

2月8日(日)、みなかみ町役場新治支所において、平成20年度第2回自然環境モニタリング会議が開催されました。今回は、これまでの赤谷プロジェクトの活動成果を赤谷プロジェクト地域協議会、(財)日本自然保護協会、サポーター、関東森林管理局などの関係者一同へ報告し、情報共有を図ることにしました。



猛禽類モニタリングWGの報告

内容は、「赤谷の森」の森林としての歴史、植生管理モニタリングや猛禽類モニタリングなどの各ワーキ

ンググループの活動成果、南ヶ谷湿地の調査などについて、各担当者及びサポーターが報告をしました。

また、3月19日(木)、みなかみ町中央公民館において、平成20年度第2回企画運営会議が開催され、各ワーキンググループ毎に短期目標を設定しました。これらの取組の成果はこの地域における国有林野の取扱いについて定める次期地域管理経営計画へ反映させていきたいと考えております。

**環境教育への取組**

**1、新治小学校での環境教育の実施**

昨春秋、地元小学生に旧三国街道でセンサーカメラ設置の実習を行いました(「関東の森林から」第57号参照)、2月12日(木)、新治小学校において、その撮影結果を交えて赤谷プロジェクトの取組を説明しました。これを機会に身の回りの森に関心をもっていただければと思います。

**2、「赤谷の森」自然散策会の開催**

2月15日(日)、赤谷センター主催で「赤谷の森」自然散策会を一般の方々を対象に開催しました。内容は、冬の「赤谷の森」を楽しんでもらうため、関東森林管理局OBの長島氏が冬芽の見分け方を解説した後、「いきもの村」で冬の森の様子を観察しました。



冬芽の見分け方を解説

参加者からは、「一見何もない冬の森でも変化に富んだ面白さがあることに感動した。」との声が聞かれました。

**3、新治中学校の総合学習への協力**

3月6日(金)、新治中学校で行われた総合学習の一環として、赤谷プロジェクトの取組を紹介しました。昨春秋に開催された「環境教育・関東ミーティング2008AKAYA」でも地元住民の周囲の森林や里山の歴史についての関心が低いとの問題提起があったところですが、「関東の森林から」(第58号参照)、今後も地域や地元教育機関等と連携して環境教育への取組を進め、長期的には地元住民に地域の歴史や森林について

て関心を高めてもらうことができると考えております。

**4、高原千葉村自然教室指導者講習会の開催**

3月17日(火)、「いきもの村」で千葉市高原千葉村職員と千葉市の中学校の先生を対象に、自然教室指導者講習会を開催しました。赤谷センターで実施している「いきもの村」での自然体験教育のねらい・教材・進め方などを紹介し、千葉森林管理事務所と上下連携(「関東の森林から」第52号参照)、した千葉市の中学生を対象とする環境教育の取組を進めています。

(赤谷森林環境保全ふれあいセンター)



センサーカメラの結果を解説